



天神だより

発行：社会福祉法人 天神会

〒714-0044 岡山県笠岡市神島 3626-7

TEL.0865-67-4111 (代)

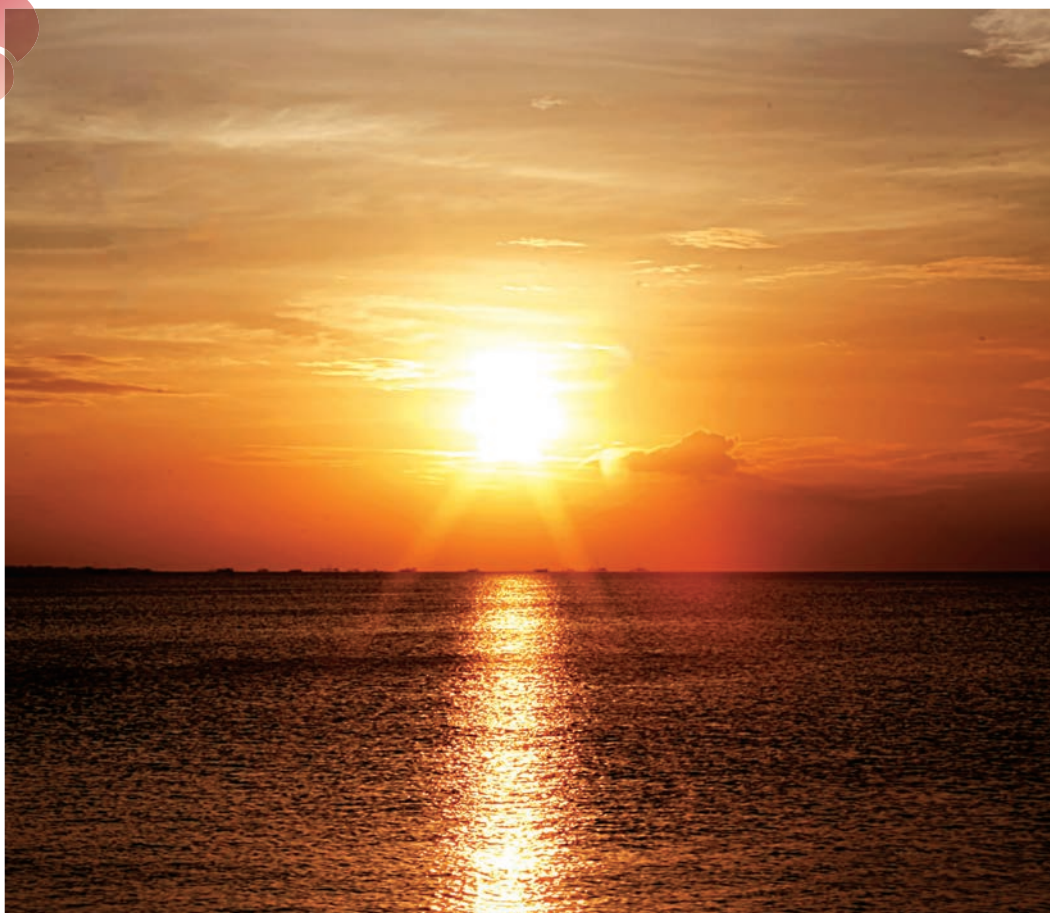
<http://www.tenjinkai.org/>

2017年1月15日発行

新春号
No.78



新年あけまして
おめでとーございます。



TENJIN

理事長挨拶

天神会の企業文化
「夢の実現に向けて」

理事長 岡崎 利治



新年明けまして

おめでとーございます。

皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年2017年は酉年です。酉年に因みまして鳥の生態に学び、良い運を引き寄せたいものです。

鳥は一羽で自由に飛んでいるように見えますが、きちんと自分たちの約束事に従って飛んでいるようです。渡り鳥は群れで飛び、季節になれば北から南へと移動します。途中羽を休める場所も知っておれば、目指す方角もよくわかっています。そしてまた、鳥は必ず巣に帰るという特性を持っています。子育ても上手です。私

たちも規則正しい生活を過ごし、家族を大事に正しい行いをして、そして信頼を勝ち取り、「金運を運んでくる鳥」の年にあやかって、大きく羽ばたきたいものです。

さて、社会福祉法人天神会の目標は「夢を持ち、『グローバル化』を推進していくことであり、常に挑戦と自己革新を繰り返し、勇気ある決断を下すことができる『企業文化』を醸成していくことであります。そして人々に質の高い介護サービスを提供し、多くの方から信頼を得ることができる法人になることにあります。これら我々の目標は現在、着々と実を結びつつあります。

「夢」の一つであった就労継続支援B型事業所の建設が、昨年11月から始まっております。この事業所 Apple は、障がい者の方の就労の場、地域の方々のコミュニティの場として、多くの方に利用していただきたいと考えています。現在、井笠地域では、障がい者の方が働ける場所が少ない、働ける能力があるにも関わらず選択肢がなく、就労についてあきらめているという状況があります。我々は法人理念に基づいた使命感から、知的障がい者の方と同様に、身体障がいのある方も一緒に「働く喜び」を感じ

られ、住み慣れた地域で生きがいを持って生活してもらいたいとの強い思いから、パン工房、庭園管理、野菜の栽培の三つの部門を立ち上げます。それぞれの部門で訓練作業を行い、仕事に必要な技術や知識、マナーの習得を目指します。そして、その先へのステップ就労継続支援A型、一般就労につなげていけるよう支援していきます。

一方で Apple は、障がい者の方の就労支援施設の場だけでなく、地域の方々のコミュニティの場として、多くの方に利用していただきたいと考えております。我々は、「みんなが集える場所」として大きな役割と期待と持って計画を進めており、今年の春には、完成する予定です。

本年も、社会福祉法人天神会の職員が一体となって、より安全で品質の高い介護サービスを提供し、地域社会に貢献してまいりたいと考えておりますので、皆様の変らぬ御理解とご支援をお願い申し上げます。そして、2017年が皆様にとりましても輝かしい年になりますよう心からお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



「福祉を考える講演会」の開催

ヒューマンリソース室 滝井 美咲緒

昨年10月29日、笠岡市保健センターギャラクシーホールにて「福祉を考える講演会」を開催しました。

今回で第5回となる講演会は、約300人の方々にご来場いただき「子どものからだを育むー運動器と運動を大切にー」をテーマに、日体大総合研究所所長武藤芳照先生に講演していただきました。

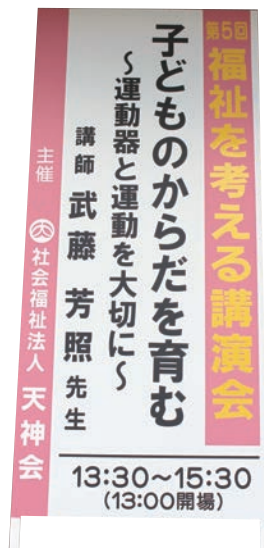
講演では「現在の子どものかたと運動との関係は、運動不足による体力低下と、過度の運動・スポーツによる運動器疾患、スポーツ障害という二極化の状態にあり、子どもの運動機能の促進と、年齢に応じた適切な運動の質と量には、外遊びが重要である。積極的に外遊びに出かけ、体を動かすことが、子どもの心と身体を

育むことになる。昔からあるめんこ遊び、コマ回し、ゴムとびなど楽しい運動ができる環境や時間を作っていくことが大切である。子どもの成長にあった外遊びが、年齢にあった体づくりとなり、このことが将来の介護予防につながる。」と語られていました。

講演中、人間の骨の数や目の大きさなどのクイズもだされ、笑いのたえない先生のお話に引き込まれ、あつという間の講演でした。

天神会はこれからも「福祉を考える講演会」を毎年開催し、介護・福祉の問題や課題について、地域の皆様とともに考え取り組んで行こうと考えております。

今後とも「福祉を考える講演会」への積極的なご参加をお願い致します。



第29回岡山県ゼロ災害運動研究集会

『天神会「腰痛ゼロへの挑戦」事例発表』

衛生専門部会副部長 原 真紀子



昨年12月20日、岡山県労働基準協会の岡山県ゼロ災害運動研究集会にて天神会の取り組みを報告させていただきました。報告内容は、福祉施設で働く私たちにとって大きな課題である腰痛予防対策です。

厚生労働省の調査報告では、介護現場における腰痛労災である腰痛災害と慢性腰痛の件数は、年々上昇しています。介護現場では、入浴・排泄・移乗など、ご利用者様への支援を行う際に腰への負担をかけている状況です。当法人でも同様の慢性腰痛の職員は、少なくありません。明るく元気な職場、楽しい職場、働きやすい職場を作るためには、職員一人ひとりの健康を守る必要があります。安全で質の高い介護サービスを提供するには、職員の健康が一番です。そこで私たちは、腰痛予防対策へ取り組むことにしました。

①職員の健康管理の推進

②働きやすい職場環境の構築

平成27年3月 腰痛予防対策に先進的に取り組んでいるオーストラリア アデレードに行きノーリフト・ノーキャッチの手法を学びました。ノーリフトとは、危険や苦痛の伴う人力のみ

の移乗を禁止し、患者さんの自立度を考慮した福祉用具使用による移乗介護を義務付けていることです。天神会でも腰痛予防対策として、スライディングシートを使用し、滑らせる方法を導入することにしました。

5月に労働衛生教育として「腰痛対策について」の講習会を開催しました。法人内の衛生管理者が講師となり、腰痛対策の基本的な考え方はもちろんですが、労働衛生管理についても分かりやすく講義してもらいました。また、コンサルティングによる講義の中で、腰部の負担率を教えていただきました。立位姿勢を100%とすると、横に寝た状態は24%と大きく負担軽減します。しかし、椅子に座る座位では140%と負担は増えます。前傾姿勢になれば、さらに負担率は増加します。私たちが日常よくとる、立位での前傾姿勢は、200〜300%と2倍以上の負担になります。何となく



腰への負担を感じていましたが、このように数字に表されることで、何とか改善しなければという思いが強くなりました。

そして職員の意識付けや啓蒙活動として、各施設に「腰痛ゼロへの挑戦」をテーマとしたポスターを作成し掲示しました。そして年2回の腰痛健診を実施し、腰痛者への悪化防止に努めています。

法人内の腰痛災害は、平成25年度2件、平成26年度では3件と増加傾向でした。増加の改善に向け、腰痛ゼロへの挑戦は昨年27年度より取り組みんでいます。今年度は、現在のところ腰痛

労災報告はありません。このままゼロ件数が持続出来るように、日々取り組んでいきたいと思っています。

私たちは、職員の健康、働きやすい環境づくりの為に活動しています。「腰痛ゼロへの挑戦」は、その取り組みの一つに過ぎません。私たちの挑戦は、始まったばかりです。法人職員が一人丸となり、楽しく活動を継続し、腰痛ゼロへ近づけることが私たちの課題だと思っています。

写真左から
インダー ユスミラ デウィさん、ウイスヌ・エディ・プラティグニョ総領事、岡崎理事長



12月19日、2016年度インドネシア介護福祉士候補者入社式
社士候補者入社式が執り行われました。入社式
には在大阪インドネシア共和国総領事館総領事、
ウイスヌ・エディ・プラティグニョ様ほか2名
の来賓の方をお迎えし、天神会役員とインドネ
シア先輩職員が見守る中、7名の候補者が天神
会の仲間となりました。

岡崎理事長は「今日から皆さんは我が法人の
戦力です。臆することなく、若い感性や行動力
で先輩を刺激し、大きく成長してください。皆
さんを見守り応援しています。」と新入職員に
メッセージを送りまし
た。

そして、先輩職員の
ビスリアフナさんは
「インドネシアでは、日
本に行きたいと思っ
ている青年がたくさん
います。その中でチャン
スを掴めるのはとても
わずかです。そのチャン
スを掴めた皆さんは、国
家試験に合格するとい
う目標に向かって頑張
ってください。」と後輩
を激励しました。

インドネシア介護福祉士候補者入社式

新入職員を代表してインダー ユスミラデ
ウィさんは「働く人として甘える気持ちはあり
ません。毎日頑張ればできるはずです。たくさ
ん勉強して、1日でも早く皆様の力になれるよ
う努力してまいります。」と挨拶し、これから始
まる日本での生活や仕事に意欲を燃やしていま
した。



介護職員初任者研修

（平成28年度後期開始）

介護の基礎的な職業教育となる介護職員初任
者研修。法人内で実施している研修も昨年11月
に前期修了式が行われ、平成28年度後期の部が
1月より開始となります。

専門的な知識や技術を習得した前期受講者の
皆さんは、達成感に満ちた表情で修了証書を受
け取っていました。天神会では経験豊富な講師
陣らが、これからも地域の皆様へ貢献できるよ
う研修事業を展開していきたいと思っています。



平成 28 年度前期修了式



神戸ランチクルーズ



神戸ランチクルーズ



東京ディズニーリゾート



東京ディズニーリゾート



インドネシアノクスモ看護短期大学

今年も職員の親睦・慰労を目的に職員旅行を企画し、多数の職員が参加し、無事に行つてくることができました。

今年は、日帰りコース（山陰方面・四国方面・関西方面）、一泊二日コース（四国方面、二泊三日コース（東京方面）、三泊四日コース（インドネシア）で、温泉・工場見学・小物作り体験コース・子供参加型・海外とバラエティーに富んだコースを企画観るだけでなく、形に残る思い出作りが出来ました。

互助会会長
仁科 忠志



皆生温泉



観光列車「伊予灘ものがたり」



道後温泉



道後温泉

天神介護老人保健施設 山本 陽子



このたび永年勤続表彰を受けましたこと、

本当に嬉しく感謝の気持ちでいっぱいです。

入社当時、社会人としても福祉施設職員の一人としても不安でいっぱい、出来事がすべて新鮮で日々勉強でした。この度このような日を迎えることができたのも、先輩方の厳しくも優しい声掛け、同僚の温かい励まし、利用者様の笑顔に支えられてきたからこそだと実感しています。過ぎ去った年月を振り返ると、表彰に値するような功績などは何一つ思い当たりませんが、ただ自分に与えられた仕事には、いつもまっすぐ取り組みやり遂げてきたという喜びと充実感はしっかり感じております。

今回の表彰を機に今の感謝を忘れることなく、さらに懸命の努力を続けていきたいと思っております。



10年
滝井 美咲緒
伊藤 俊介
藤本 由美
藤井 章雅
東山 しのぶ
仁科 朋子
福井 宏和
久田 俊輔
岡川 寛子
三宅 千枝子
松山 里美
吉仲 啓子
大西 嘉子
亀高 さつき
渡邊 純子
眞田 三佐子
北川 光子



25年
高田 美洋
有岡 理美
松浦 由起
山本 陽子
佐藤 郁江
吉岡 美恵子
小林 貴恵



15年
梅木 一成
高田 千恵美
坂本 聡子
高橋 仁美
猪原 千里
上野 倫代
細川 房子
平野 真由美

永年勤続表彰

10月21日、平成28年度永年勤続表彰式を開催しました。この催しは、法人設立記念日である10月20日に、勤続10年以上の方に対しその功績をたたえ、表彰式を行っているものです。今年度表彰された37名には、岡崎理事長より表彰状と感謝のメッセージが贈られました。

メンタルヘルス 健康

冬は感染症の季節です。

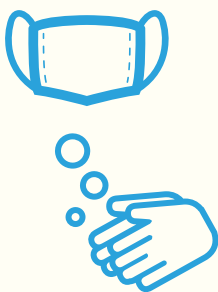
寒くて乾燥する冬は、インフルエンザや、ノロウイルスなどによる感染症が流行しやすくなります。

冬にウイルス感染症が多い理由

(1) 寒く、空気が乾燥すると、低温・低湿度を好むウイルスにとって、最適な環境となり感染力が強くなります。

(2) 空気の乾燥に加え、夏場ほど水分を積極的にとらなくなるので、鼻や喉の粘膜が傷みやすくなり、ウイルスに感染しやすくなります。

(3) 空気が乾燥していると、咳やくしゃみによる飛沫が素早く乾燥し小さくなり、飛沫に含まれたウイルスが、遠くまで飛びやすくなります。そのため、一度のくしゃみや咳による感染範囲が広くなり、人の多い場所ほど感染スピードがあがり感染しやすくなります。



冬になると流行する感染症について

一、インフルエンザ

【症状】

発熱（多くは38℃以上） 頭痛・関節痛・筋肉痛・倦怠感など全身症状、やや遅れて喉の痛み・咳・鼻水など呼吸器症状が現れる。

【感染経路】

(1) 人から人に感染する場合
(2) 汚染した食品を介して起こる場合

【予防】

(1) 流行前にワクチン接種を受けましょう。
(2) 手洗い：普段何気なく触っているところにも菌が付着している可能性があり、手を介して口や鼻から感染するため、手を洗いましょう。
(3) マスク：他人の飛沫を吸い込むのも、自分の飛沫が飛び散るのも防ぎます。□元の湿度を保つのも効果的です。
(4) うがい：外から帰ったらうがいをしましょう。適度にのどを潤すために意識的に水分補給をしましょう。

(5) なるべく人ごみに行かないようにしましょう。

(6) 抵抗力を高める：バランスのよい食事と十分な休養・睡眠をとり、疲労をためないこと。感染症にまけない免疫力をつけましょう。

二、ノロウイルスによる感染性胃腸炎

【症状】

嘔吐、下痢、悪心、腹痛、発熱等

【感染経路】

(1) 人から人に感染する場合
(2) 汚染した食品を介して起こる場合

【予防】

(1) 手洗い：食事や調理の前、トイレの後には、流水と石鹸で十分に手を洗いましょう。
(2) 吐物や便の処理：特に、ノロウイルスの場合、患者の便や吐物には大量のウイルスが排出されるため、①便や吐物の処理を確実に行う。②処理をする時には、素手で触らずビニール手袋を使用する。③汚物の消毒は、次亜塩素酸ナトリウムで行います。
(3) 食品の加熱：中心温度85℃以上1分以上になるようにしっかりと加熱しましょう。

ボランティア活動報告

・障害者支援施設こうのしま荘

傾聴ボランティア 猪原 有理想
体験学習 大島中学校 4名

・特別養護老人ホーム天神荘

生花クラブ手伝い 山本 睦巳様・有岡 邦子様
茶房てんじん手伝い

宮澤 光乃様・国際ソロプチミスト笠岡様5名
傾聴ボランティア 白百合の会 広藤 キシノ様

・天神介護老人保健施設

傾聴ボランティア

神田 富子様 他2名・笠岡市認知症介護ボランティアの会5名

生花クラブボランティア 長安 栄子様

天老まつりボランティア 福山福祉専門学校2名・

くらしき作陽大学22名・西本薬品様

壁紙作成ボランティア 富岡保育園

中学校いきいきチャレンジ 笠岡東中学校 1名

敬老会へ慰問 富岡保育園

・ケアハウスこうのしま

傾聴ボランティア あじさいの会3名

カラオケクラブ ドレミの会8名

運動会

小見山 和子様・小見山 照美様

小見山 宏子様・小見山 幸乃様

斉藤 征子様・杉本 幸子様・広畑 美弥子様

秋の1日旅行

小見山 和子様・斉藤 征子様・杉本 幸子様

・こうのしま介護老人保健施設

中学校いきいきチャレンジ 笠岡東中学校1名

敬老会へ慰問 富岡保育園園児



おめでとう

〔平成28年9月～平成28年12月〕

表彰

● 笠岡市優良介護従事者表彰

・ 特別養護老人ホーム天神荘

田中 広美

・ 天神荘デイサービスセンター

鈴木 愛子

・ 天神荘ホームヘルプサービス

松枝美津子

・ 天神老健デイケアセンター

濱田久美子

・ このしま介護老人保健施設

大西 嘉子

● 全国老人福祉施設協議会

・ 特別養護老人ホーム天神荘

藤谷賀津子

・ 軽費老人ホームケアハウス

このしま
松浦 由起

・ このしま荘地域活動支援センター

伊藤恵美子

梅木 一成

笠原 幸子 竹内 恒夫

伊木 正行 松枝 博子

小林真由美 久戸瀬直也

奥野 瑞美 馬越 容子

廣澤ありさ 藤井 良充

安田 恵美 中山 弘子

川上 希 川越八寿子

・ 障害者支援施設このしま荘

10年表彰

● 中・四国身体障害者施設協議会
永年勤続功労表彰

ご出産

● 特別養護老人ホーム天神荘

川合茂文・明子



★お子様
かなた
翔奏ちゃん
〈お誕生日〉
平成28年12月15日

● 障害者支援施設このしま荘

柏原昌江



★お子様
みお
瑞央ちゃん
〈お誕生日〉
平成28年10月6日

News



オペラコンサートを開催しました

特別養護老人ホーム天神荘
大学で音楽を学ばれた、
地元出身の笠崎有貴さんをお招きし11月17日、特別養護老人ホーム天神荘にてオペラコンサートを開催しました。迫力ある癒しの歌声に、来場者された皆さんからは感動の声が上がっていました。



クイズに答えて 素敵な賞品をゲットしよう！

Q1

今年は四年ですが、何の鳥のことでしょうか？

- ① 鶏 ② 鶴 ③ 鳩

Q2

お年玉を入れる袋を何と言っていますか？

- ① 祝儀袋 ② ポチ袋
③ 巾着袋

Q3

今年の成人の日は、何日でしょうか？

- ① 9日 ② 15日 ③ 8日



※応募締め切り：2月末日

各施設に応募用紙と応募箱を設置します。正解者の中から抽選にて5名の方に素敵な賞品をご用意しています。当選者は次回発行の誌面にて発表させていただきます。
ふるって応募ください！

秋号クイズの答え

- ②、③、②

秋号のクイズ

当選者発表

佐藤和男様
森山倅多様
土屋梅香様
北村勲様
松浦文子様

編集後記

新年明けましておめでとうございます。今回より本誌のデザインを変更しております。これから皆様に見やすくわかりやすい広報誌を作成してまいりたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

天神荘 野崎 雄介

